

この町で素敵な「^{ミライ}未来」を描く方をご紹介します。



平井ゆきこ習字教室

平井 ^{ひらい} 有希子 ^{ゆきこ}さん（畔藤在住）

世代の垣根を越えて

交流できる居場所をつくりたい。



今回ご紹介するのは、白鷹町と長井市で習字教室を開き、3児の母でもある平井有希子さんです。

元々は携帯ショップで働いたのですが、結婚し子どもを授かった時に、家族や子どもと過ごす時間をどのように作っていくかを考えたと言います。「子どもができて、子育てのことを考えた時に、仕事と両立ができて、自分が持っているスキルも生かせることが習字だ」と思い、2014年に習字教室を開いたんです。今年で11年目を迎えることができました」と当時を振り返る平井さん。

現在は、年少児から70代までの方約130名の生徒が通っています。「習字の時間を楽しみに来てくれることが嬉しいですね。特に、子どもたちの中には、学校生活の中で、『学校のスローガンを書いて欲しい』とお願いされた！」と教えてくれる子もあり、誰かに頼られることで自信をつける子もいます。

また、中学生や高校生になっても通い続ける子は、自分の意志で習字を続けている子たちです。SNSやYouTubeなどのエンタメが身の回りに溢れる時代、それ

習字は努力した分、必ず結果に繋がります！

でも習字を続けてくれることに感激します」と話してくれました。

最後に、今後の活動について何うと、「子どもにとっても、大人にとっても『サードプレイス』、つまり『第3の居場所』になるといいなと思っています。自宅や学校、職場でもない、居心地の良い場所として皆さんに通っていたら、幅広い年代の方が世代を越えて交流してもらえるような場所にしたいです。どんなにデジタル化が進んだとしても、『文字を手で書く』ことはなくならないと思うんです。だからこそ、習字を通して私なりにできることを頑張っていきたいですね」と笑みを浮かべながら語ってくれました。

